

事業所名		放課後等デイサービス　　ピーと海田駅前教室				支援プログラム		作成日		2025 年		7 月		1 日	
法人（事業所）理念		1．私たちは、子供たちの心を大切にします。 2．私たちは、子供たちと共に日々成長し続けます。 3．私たちは、地域の福祉の発展に貢献します。													
支援方針		・ 工作・音楽・運動・学習・ビジョン・課外活動など5領域を対象とした集団行動を行っています。これらのプログラムを通じて、個々の成長の状況をご家族の方と共有し、お子様への適切な支援を心がけます。 ・ 定期的な保護者面談・親子面談を通じて、目標と成果、支援計画を共有します。 ・ 地域の行事への参加や公共、民間施設への訪問を通して、地域交流や社会生活に適応してけるように支援を行います。													
営業時間		10 時		0 から		19 時		0 まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	1) 子どもたちの健康観察を行い、健康状態の把握に努めます。 2) 健康な心と体を育て、健康で安全な生活が出来るよう支援を行います。 3) 基本的な生活スキルの獲得 清潔な身の回りや食事、衣類の着脱、排泄などの基本的な生活技能を獲得できるよう支援します。 4) スケジュールを提示したり、空間を仕切るなど生活環境を整えることで、子どもたちひとりひとりの特性に配慮した支援を行います。 5) 映像、疑似体験などを通じて、防災や交通ルールなどの危機認知スキルの向上を行います。													
	運動・感覚	1) 室内だけでなく屋外遊びで筋力の維持・強化を図ります。 【 室内例：バランスボード、運動療育トレーニングゲーム≪トレキング≫等 屋外：公園遊びやスポーツ体験、ウォーキング等 】 2) 工作などの遊びを通して物質の変化と感覚の認知形成を行います。 3) 日常生活の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・筋力の維持・強化を図ります。 4) 視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用しながら、味覚、嗅覚なども含めた五感全てを使った遊びやクッキング、季節の行事などを行います。													
	認知・行動	1) 当日のスケジュールを視覚提示して見通しを持てるようにし、概念の習得を図ります。 2) 活動の切り替えができるだけスムーズにできるように環境を整えることとともに、子供たちに対し適宜働きかけを行います。 3) 情報の取得から選択、そして行動につなぐ認知過程の発達を支援します。 4) 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間などの概念の形成が認知や行動に活用できるよう支援します。 5) 数量、形の大きさ、重さ、色の違いなどの習得を支援します。													
	言語 コミュニケーション	1) あいさつや日常の会話を通してひとりひとりの特性に合わせた支援をします。 (はじまりの会やおわりの会、集団活動において相手の話に注意を向けて聞く、座る、見る、発表をする。SSTの実施) 2) 相手の意図を理解すること、また自分の考えを伝えることができるように、話し言葉だけでなく文字や記号などを用いた支援をします。(絵カードなどを活用した視覚支援を実施) 3) 指差しやジェスチャー、手話といった非言語コミュニケーションを取り入れ、様々な表現方法の獲得を目指し、円滑な意思伝達ができるように支援をしていきます。 4) 読み書きに対する学習支援を行います。 5) 口腔構音器官の運動やその他言葉の練習を必要に応じて実施します。													
	人間関係 社会性	1) 1人や小グループ、大グループでの遊びを通じて自己理解・他者理解を養います。 2) 支援員との信頼関係を築くことで他者との安定した関係が形成できるよう支援を行います。(SST、専門支援の実施) 3) 様々な遊びの中で社会性や対人関係が発達するよう支援します。 4) 遊びの中で自己の行動や感情を理解し、コントロールできるよう支援します。 5) 社会や公共の場におけるルールやマナーが学べるように様々な体験、外出の機会を設けるよう努めます。(定期的な社会適応訓練)													
家族支援		・ 保護者面談（必要に応じて随時）にて、支援内容のフィードバックやお子様の発達状況や支援ニーズの確認を行います。 ・ 各関係機関との連携を図ります。 ・ ご家族向けのペアレントトレーニングを実施します。						移行支援		・ 進学、就労先といった利用者の環境の変化に伴う課題の提示、実践をしていきます。 ・ 地域社会との交流を図り、集団への参加、適応を養います。					
地域支援・地域連携		・ 相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、また役所や社会福祉協議会といった関係機関との連携を図ります。 ・ 学校や併用利用先との情報共有をします。						職員の質の向上		・ 定期的な全体会議、療育会議、担当者会議を実施します。また、教室内でのスタッフミーティングも実施します。 ・ 各種勉強会の実施、研修への参加をします。					
主な行事等		・ 季節の行事（夏祭り、ハロウィン、クリスマス、初詣、節分等）、季節ごとの飾りの制作 ・ 施設と連携した合同運動会 ・ 保護者会 ・ 高齢者施設への訪問、交流 ・ 公共、民間施設を利用した社会適応訓練 ・ 地域行事への参加													